



# 給食だより

筑波大学附属視覚特別支援学校

新年、あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いいたします。  
さて、お正月になると餅やおせち、七草がゆなど、この時期ならではの食べ物が増えてきますね。給食でも、季節が感じられるようなイベント食をどんどん提供していきたいと思います。

## おせち料理に込められた願い

おせち料理には、いろいろな願いが込められています。

- (例) --
- ぶり・・・ぶりは大きさによって名前が変わるため出世魚と呼ばれ、出世を願う
- 紅白なます・・・水引をかたどっているとされ、平安や平和を願う
- 黒豆・・・「まめ（健康）」に暮らせるように願う
- 昆布巻き・・・「よろこぶ」という言葉にかけて喜びが二重三重にもなるように願う
- きんとん・・・黄金色をしていることから財宝を表し、金運が上がるように願う

おせち料理などの正月料理は、年神様にお供えをして、同じものを食べることで1年を元気に過ごせるとされてきました。

みなさんも1年を元気に過ごせるよう願っておせち料理を食べましょう。

また、年明け最初の給食（9日（水））では、お正月献立を提供します。食材の意味を考え、1年を元気に過ごせるようお願いを込めて食べましょう。

1月24～30日は、

## 全国学校給食週間です

日本の学校給食は明治22年（今から130年前）に山形県の私立忠愛小学校で貧しい子どもを対象に無償で出された昼食が最初といわれ、その後、全国に広まってきました。戦争により一時中断しましたが、アメリカなどからの援助物資を受け、昭和21年12月24日に再開されます。昭和29年には学校給食法が制定され、現在のような学校給食の制度が少しずつ整っていきました。

現在の学校給食は、栄養バランスのとれた食事や行事食、郷土料理なども多く取り入れられています。

本校では、24日（木）の給食で、一番最初の給食で出された献立（おにぎり、塩鮭、菜の漬物）を再現しつつ、栄養バランスが整うよう少し付け加えたものを提供します。当時の子どもたちは、どんな思いで食べていたのか、想像しながら食べてみましょう。

また、28日（月）・29日（火）では、附属小学校・附属桐ヶ丘特別支援学校で人気のあるメニューを附属視覚で提供します。

さらに、30日（水）では、日本の伝統文化である「クジラ肉」を提供します。

24～30日は、学校給食について考え、より一層楽しくおいしく味わって食べましょう。



### 食に関する歴史クイズ

Q.弥生時代の遺跡からも見つかり、平安時代には「とんじき」と呼ばれていた、現在でも食べられている食べ物はどれでしょう？

①おにぎり



②いなりずし



③のり巻き



☞正解は、裏面へ！